

# 7 京都市子ども保健医療相談・事故防止センター 「京(みやこ)あんしんこども館」を知っていますか？



- ◆京都市が9年前に梅屋小学校跡地に子どもの安心・安全を守るためにできた施設です。
- ◆子どもの病気や育児の不安の相談にベテラン小児科医・保健師・看護師が対応します。
- ◆子ども達に発生しやすい事故の調査と事故を減らすために予防対策を考えています。

## ◆◆◆◆◆事故のアンケート調査にご協力いただきありがとうございました◆◆◆◆◆

### 今回の情報 0歳児1歳児の溺水

0歳児			1歳児		
風呂の浴槽	転倒	16	風呂の浴槽	転倒	11
	転落	12		転落	2
	浴槽用浮輪で沈んだ	1		詳細不明	6
	詳細不明	7			
その他	プールへ転落	1	その他	トイレにはまった	1
	ベビーバスへ転落	1			
	タミータフで沈んだ	1			

溺水は家庭内で起こる最も悲惨な事故で、危険度がきわめて高い事故です。アンケート調査では1歳未満児で2,510通のうち事故なしが1,408件、事故ありが1,102件でその中に39件(3.5%)、1~2歳未満児では578件の内、20件(3.5%)の溺水事故がありました。幸い死亡例はありませんでした。

日本での小児の溺水事故調査は、20年程前に京都第二日赤十字病院の水田小児科部長が行った病院搬入の全国調査しかありませんでした。

今回の事故調査ではアンケートにご協力いただいた0歳児100人に対して1.5人が溺水でした。

浴槽内での転倒は「一人でのつかまり立ち」「ユニットバスのすべりやすさ」「しっかり立てないこと」「遊んでいた」などが多い理由でした。1歳児の20件では、浴槽内で転倒・転落などが19例で、1例はトイレにはまったでした。今回の浴槽内で起こった事故はいずれも親と一緒に入浴の際に起こっていたので、ただちに引き上げ重症例はありませんでしたが、親の知らないうちに子どもが浴室に入って、バスタブの残し湯に転落すれば溺死の大きな原因となります。そのために残し湯はしないこと、浴室入口の子どもが手の届かない所に鍵を付けることが必要です。また今回のアンケート調査では親と一緒に入浴していて目を離した時に溺れた事故が多いことがわかりました。

### ワンポイント

**お風呂場は家庭内で最も危険な場所です。**①お風呂場の入り口の戸には子どもが手の届かない所に鍵をつけてください②入浴中は子どもから目を離さないでください(親が洗髪中の数分でも)③4~5歳までは一人での入浴はやめてください。④残し湯はしないでください。⑤心肺蘇生術の講習をうけてください。

### 何をしているの？

- \*来館者には**セーフティハウス**の見学と**家庭内事故防止**について説明しています。
- \*団体来館者には見学と小児科医による「子育て不安」、「児童虐待」「家庭内事故」等の話をしています。
- \*講習会ではお子さんの「心肺蘇生法講習会」、「チャイルドシート装着、幼児2人同乗用自転車の講習会」もしています。
- \*子どもの事故防止実践・応急手当マニュアルを進呈します(無料)。

### 場所は？

中京区釜座通丸太町上る梅屋町  
(第二赤十字病院南隣)  
TEL 代表 075-231-8002  
相談 075-231-8005  
FAX 075-231-8003  
<http://www.anshinkodomokan.jp>